



暖かい心 広い視野 行動力 『県民ひろば号外』

もりちゃん通信

大分県議会議員 守永信幸活動報告

発行責任者
大分県議会・県民クラブ
守永 信幸
〒870-0022
大分市大手町3-2-9
TEL 097-534-2021
FAX 097-536-0595

もりちゃんの
活動日誌

街中に溢れる交流の輪 ～ラグビー・ワールド・カップを契機に～

ラグビー・ワールド・カップ(RWC)の熱戦が9月20日から11月2日まで繰り広げられました。大分県では5試合が行われ、ニュージーランド、カナダ、オーストラリア、ウルグアイ、ウェールズ、フィジーの6カ国がプール戦(ブロック予選)、イングランド、オーストラリア、ウェールズ、フランスが準々決勝を闘いました。試合を見に訪れた方々は、5試合の合計でスタジアムに延べ17万3千人、ファンゾーンへは延べ11万4千人です。



試合のあった国々の応援団として来県しただけでなく、ヨーロッパやアフリカなど世界各地から、中にはこれまでは大分県を訪れることが多くはなかった国々から大勢の方が来県し、ラグビーの試合だけでなく、大分県を満

喫して帰られました。

大分市や別府市の繁華街でも賑わいが感じられましたし、県内各地を観光した様です。初めて訪れた大分県のことをSNS等で世界各地に発信して頂けたのではないのでしょうか。その口コミ情報が2020東京オリンピックで訪日される方々を、大分まで運んで頂ける契機になることに期待したいと思います。また、行政として未来につなげていかなければならないと思います。

子どもたちの未来応援団

11月9日、大分市の大分県総合福祉会館大ホールで『子どもの貧困対策全国キャラバン in 大分』が開催されました。子どもたちが、生まれた家庭の環境に左右され



ることなく、自らの目標(夢)に向かって進んでいけるように、大分県下で多くの団体が支援活動をしています。今回のキャラバンでは、地域で活動する団体の取り組みを多くの方々に知って頂き、同様の取組をされている方々の横の繋がりを築き、みんなで『カタローエ(大分弁で「参加しようよ」)大分』を創っていかうと呼びかける企画でした。

子どもの貧困対策に取り組む5つの団体が活動を紹介し、興味を抱いた団体の分科会で意見交換をしました。私は「面会交

～カタローエ大分をつくろう～

流支援 子じかネット大分」の分科会に参加しました。両親が離婚した後に、子が両親のそれぞれと繋がりを持てるように支援する団体です。

その他に、子ども食堂、居場所サロン、チャイルドラインおおいた、ひじまち制服バンクが分科会を運営しました。これらの団体については本紙4頁に紹介します。子どもの居場所づくりと夢の実現に向けて、多くの方々に応援団になって頂ければと思います。

暮らしの相談承ります。

政治は暮らしに直結しています。
守永信幸が暮らしの相談を承り、専門家とともに解決をめざします。
まずは、お電話を！

TEL 097-532-4919
FAX 097-534-6598

第3回定例県議会と決算特別委員会

第3回定例県議会は9月17日から10月3日まで開催されました。本定例会では、2019年度補正予算案や2018年度決算議案が提案されました。決算議案については、定例会閉会後の10月10日から11月11日にかけて決算特別委員会で審議しました。

今回は、決算特別委員会で私が質問した課題の一部について触れます。

◇鉄道駅バリアフリーと無人化について

JR九州では障がいのある人が安心して駅を利用できるようにと、駅のバリアフリー化工事を進めています。2018年度は鶴崎駅のバリアフリーが竣工しました。

一方で、JR九州はスマート・サポート・ステーション（以下「SSS」）を導入して駅の無人化を進めようとしています。



2018年度にバリアフリー工事を終えた鶴崎駅



障がいのある方々は無人化に不安を感じていますので、県の考えを尋ねました。

＜企画振興部交通対策課長答弁要旨＞

- ・SSS導入は鉄道事業の経営環境が厳しさを増す中で、路線維持のための経営努力の一環として受け止めているが、住民の声を無視した無人化には問題がある。そこでJR九州に対しては住民の声に耳を傾けニーズを踏まえた対応を求めてきた。
- ・JR九州からはSSSについての住民説明会の開催、説明会での意見を踏まえた内方線付き点字ブロック整備や案内標識追加などの対応をしたと聞いている。
- ・引き続き利用者の声を踏まえた丁寧な対応を求めていく。

私は、障がいのある方だけでなく高齢者や子どもたちが利用するときに、駅員が見守ってくれることの安心感は大きいと考えます。

今後無人化が予定されている駅は、多くの方が乗降し特急列車が停車する駅もあります。その前後の駅は特急列車が時速80～100Kmのピードで通過します。SSSが先行して導入された福岡県の筑紫鉄道は、特急列車が運行しない支線ですので、危険回避や事故防止を考えると、同じ基準でSSSによる無人化を進めて良いものではないでしょうか。何らかの形で人員配置を検討すべきだと思います。

大分市内のJR駅の乗車人員等 (2018年度)

路線	駅名	乗車人員	順位	運営状況	SSS
日豊線	西大分	485	250	委託	
	大分	19,067	4	直営	
	牧	723	204	旧委託	実施・無人
	高城	1,759	105	委託	予定
	鶴崎	1,958	91	委託	予定
	大在	2,178	87	委託	予定
	坂ノ市	1,173	144	委託	予定
	幸崎	310	299	旧無人	実施・無人
豊肥線	滝尾	395	272	旧無人	実施・無人
	敷戸	1,094	158	旧委託	実施・無人
	大分大学前	1,646	111	旧委託	実施・無人
	中判田	864	864	委託	予定
久大線	竹中	100未満	-	無人	
	古国府	474	251	無人	
	南大分	548	238	委託	
	賀来	565	234	無人	
	豊後国分	340	295	無人	

◇発達障がいへの対応について

発達障がいの診断ができる医療体制の整備、医師の養成をこれまでも求めてきました。2018年度から小児科医や精神科医をはじめとする医療従事者等を対象とした専門研修が開催されています。その状況について尋ねました。

＜福祉保健部障害福祉課長答弁要旨＞

- ・地域のかかりつけ医などが発達障がいについて一定水準の診察や対応が出来るようになることで、発達障がいに早く気づき、早期支援の推進を図ることを目的に研修を実施。
- ・県医師会に委託の上、厚生労働省の研修への派遣とその医師からの伝達研修を実施。
- ・2018年度は小児科医、精神科医等の計114人に実施。県のHPでも紹介。
- ・県ではペアレントメンターの育成、ペアレント・トレーニングの実施、保育士等の保育コーディネータ研修を実施。同様の境遇の親によるサポートづくりや早期に発達障がいに気づくこと、そうした親子に寄り添える体制作りに取り組んでいる。

発達障がいについては、子どもの個性を認め、個性に応じた育ちの環境を整えながら、心豊かに社会に出ていけるようにすることが大切と考えます。特に親を支える体制を構築することが欠かせません。私も県の取り組みに感謝しつつ、さらに市民レベルの運動とあわせて充実に向けて、関わっていきたいと思います。

◇交差点での運転ルールの徹底について

私は地元で登校時間帯に交通安全指導に関わっていますが、優先道路を理解していなかったり、交通弱者に対する配慮が不十分なドライバーを見かけます。2018年度の取り組みを尋ねました。



＜県警本部回答要旨＞

- ・交差道路の優先関係を正しく理解することは重要で免許取得時の要件。
- ・今後も事故発生状況を踏まえつつ、必要に応じて視覚教材等を活用し講習を行う。
- ・2018年度は横断歩道で歩行者が犠牲となる交通死亡事故が多発。横断歩道での交通ルール・交通マナーの向上に重点的に取り組んだ。
- ・引き続き各種講習等の機会を利用して基本的な交通ルールの周知徹底に努める。

交差点での譲り合いも、優先関係を理解していないと思わぬ事故になってしまいます。正しい交通ルールを身に付け、周囲への配慮を忘れずに運転することが大切です。

子どもたちの未来応援団『カタローエ大分』を応援しよう

子どもの貧困対策全国キャラバン in 大分で分科会を運営したグループを紹介します。興味を持たれた方は、グループ名でホームページを検索して連絡を取るか、私（守永）にメール等でご連絡下さい。お繋ぎしたいと思います。

『NPOしげまさ子ども食堂』 ～げんき広場～

2016年4月から旧三重農業高校の重政農場跡地で地域の子どもを地域で見守り育てるために設立。月2回の活動は、農場跡地での外遊びや子ども食堂。中学生対象の無料学習支援も毎週金曜日に開催し、勉強後には夕食を提供しています。2018年8月にNPO法人化。



一緒に歩こう会 居場所サロン「わかばハウス」

児童福祉施設で生活をしたことのある方や里親の元で生活した経験のある方が一緒に考え・悩み・行動する団体です。民家をお借りして自由に利用できる居場所づくりや社会体験、生活訓練の機会を提供しています。

チャイルドラインおおいた

18歳までの子どもの話を聴く活動。子どもの哀しみ・不安・喜びなど、どんな話、どんな気持ちでもまず受け止めることから始めます。1人でも多くの子どもの気持ちが軽くなるよう、話に耳を傾け、安心できる“心の居場所”でありたいと活動されています。子どもの声から見える社会課題や子どもたちの現状を社会に発信していくことで、子どもが生きやすい環境を創ろうと考えています。

面会交流支援 子じかネット大分

親の離婚や別居に直面した子どもが、別居親から安心して愛情をもらえる「親子の時間（面接交流）」のサポートをしています。両親の間に入って日程調整や子どもの受け渡し支援、親子の時間の見守りや関わりの手助けなどを支援し、親の悩みをほぐしています。

ひじまち制服バンク

不要になった中学校の学生服、その他学校アイテムを集め町内の生活が苦しい家庭などに無料で譲る活動を日出町で行っています。中学校をはじめ賛同頂いたお店など町内13カ所に回収場所を設置。町内外から続々と善意が届き、支援の輪が広がっています。



お知らせ

- ◇常任委員会は「土木建築委員会」に所属。
- ◇行政や暮らしに関わる相談をお請けしています。お気軽にご連絡下さい。
- ◇グループでの意見交換会などにお声がけ頂ければ、日程を調整の上、参加させて頂きます。
- ◇守永信幸後援会の会員を随時募集しています。年会費3千円です。守永の活動をご支援下さる方、ご連絡下さい。

連絡先：097-532-4919
FAX：534-6598

編集後記

第3回定例会後の決算特別委員会を終えて、速やかに発行しようとしたのですが、遅れ遅れになってしまいました。▶11月25日に第4回定例会も開会し、この議会で私は一般質問に立ち公共交通の課題や県外からの移住施策などについて質問する予定です。▶今年は亥年の選挙イヤーでした。慌ただしく過ごした1年となりました。▶その亥年も残すところわずかです。この亥年をしっかりと締めさせて頂き、新たな干支を迎えたいと考えます。引き続きよろしくお願い致します。